

ひまわり通信

2009年(平成21年)

2月2日(月)

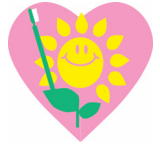
第22号

発行所 ひまわり歯科

〒229-0031 神奈川県相模原市相模原 5-5-1

電話(042)750-6143 FAX(042)756-4334

URL : http://www.himawari.serio.jp



チョコで虫歯予防!?

キシリトール100%チョコレートは、子供達の大好きなチョコレートで楽しく虫歯を予防したいと願う歯科医師の発案で生まれました。



チョコレートの虫歯を作る原因となつて、砂糖をまったく使わず甘味料を100%キシリトールにするこ
とで虫歯が予防できるチョコレートができたのです。このチョコレートは、皆さんが毎日おこなつていいる歯みがきにプラスして、さらに虫歯を予防するためのチョコレートなのです。

チョコでむし歯を予防する理由

虫歯ができる原因はさまざまですが、大きな原因のひとつに「砂糖」があります。砂糖がお口の中に残っていると、歯の表面やすき間に住むミュータンス菌が糖質を分解して歯垢を作り出します。食べ物を食べた後に歯磨きし

ないでいると、お口の中がねばねばした感じになったことはありませんか？

それはミュータンス菌が生み出した歯垢の仕業です。歯垢は糖を発酵させて様々な酸を作り出し、その酸が歯の表面を溶かしていきます。

キシリトールは、お口の中の菌で発酵することがないので酸を作りません。キシリトール入りのガムで虫歯を予防できるのと同じことです。

こんな方にもお勧めです!

キシリトール100%チョコレートはお口に入れてゆっくり溶かすだけなので、ガムをまだ与えられない小さなお子様や、ガムを噛めない高齢者の方や入れ歯の方も気軽ににお口に入れることができます。しかもチョコに含まれるカカオはリラックス効果やダイエット効果があり、認知症にも有効だと言われています。

最後に一言。

虫歯予防の為に、もっとも重要なのは、日々の歯磨きやうがい、定期的な歯科検診を受けることだということを忘れな

いで下さい!
☆ご購入方法は、インターネットで検索し直接注文して頂くか、もしくは当院の広報担当にご相談して下さい。

歯間ブラシを使うQ&A

Q 磨いていると歯肉が痛い・・・。

A 無理して使用すると逆に傷ついてしまいます。傷ついたら一旦使用をやめて状態が落ち着いたら再開しましょう。また歯間ブラシには太いものや細いものがあります。きつい場合はブラシのサイズを少し細いものにするとういでしょう。

Q 使うと歯肉から出血がありますが・・・。

A 出血は歯肉が炎症を起こして弱くなっているだけです。継続して歯間ブラシで磨いていけば、炎症がなくなり出血しなくなります。

Q 歯と歯の間にすき間ができた・・・。

A これは、今まで詰まっていた汚れがしっかりと取れて、歯肉の炎症もなくなり治っている証拠です。

歯間ブラシを使用して磨き残しをなくしましょう!

ペット紹介のコーナー



今回は歯科助手の林さんが飼っている犬のシェパードです。犬種はアメリカンコッカースパニエルで、2歳半になる女の子です。性格は食いしん坊で人なつこいようです。普段はお昼寝が大好きで、写真は寝ていたところを起さされ、なんだかまだ眠たそうですね

